



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



W E E K L Y R E P O R T

風に向かって、風とともに
東京六本木ロータリー・クラブ会長
2012年10月1日発行 第330号
2012-2013年度 No. 10



本日のプログラム

平成24年10月1日
卓話 『オードリー・ヘップバーンさんの素顔
～私が彼女から学んだこと～』
コーディネーター
加藤 タキ 様

プロフィール

1945年 東京生まれ
アメリカ留学から帰国後、米国報道誌「タイム・ライフ」のリサーチャーを経てショービジネスの世界へ。
オードリー・ヘップバーンやソフィア・ローレン、マレーネ・ディートリッヒ等々との出会いを通して各々の人間性、プロフェッショナルな姿勢に触れ感動したエピソードを持つショービジネス・コーディネーターの草分け的存在。

父は元国会議員・労働大臣 故 加藤勤十。母は女性初の国会議員のひとり 故 加藤シヅエ。明治人の両親の教養を広く語り継ぐとともに、齢を重ねても「思い立ったときがチャンス!」と好奇心旺盛に新たなことにチャレンジを続ける。
現在は、講演や各種委員、著述、その他様々なメディアで活動。
「オードリー・ヘップバーン子供基金」理事 等

クラブからのお知らせ [9月24日]

● 松島会長挨拶

- 朝夕はさすがに秋の気配になってきました。
- 10日開催の夜間例会は、にぎやかに盛り上がりました。親睦委員及び関係者皆さまに感謝します。
- 政治は、漂流を続けています。政策の空白が続くと、国民生活に支障が生じるだけでなく、海外のリーダーとの個人的な信頼関係を築くこともできず、国際的に孤立しかねないと心配しています。一つの大河に流れが集まるような政治体制に早くなって貰いたいものです。

● 関口幹事報告

- ロータリー青少年交換プログラムよりROTEXの名称変更のお知らせ
国際ロータリー日本青少年交換委員会より通達があり、下記のとおりROTEXの名称が変更されます。青少年交換プログラムにつきましてより分かり易く、全会員の皆様のご理解を深めていただくために、また、交換学生たちの結束を強めるためにこのような決定がされました。

日本語表記：青少年交換学友会

英語表記：Youth Exchange Alumni

- ロータリー財団奨学生募集のお願い
従来の「国際親善奨学生プログラム」が本年6月に終了し、来年度からは「RI第2750地区ロータリー財団奨学生」制度とし

て、新たにスタートします。この制度は、「国際親善奨学生プログラム」と類似したのですが、大きく変更となるのは、今年度中(平成25年6月末)に選考手続きを終え、来年度に実施するという点です。そこで、「RI第2750地区ロータリー財団奨学生」の募集が9月15日から開始されましたので、相応しい奨学生の募集に会員の皆様のご協力をお願いいたします。詳細につきましては、財団のホームページをご覧ください。

- 東京神宮RCから明治神宮清掃奉仕のご案内
以下の要領で執り行われる明治神宮清掃奉仕への参加を希望される方は、10月17日(水)までに事務局までご連絡願います。

日時：10月24日(水) 10:50集合

11:00より清掃奉仕・お神楽 初穂料 2,000円

12:00～13:00 昼食例会 登録料 3,000円

登録料・初穂料は、当日神楽殿にて申し受けます。

場所：明治神宮(渋谷区代々木神園町1-1)

『神楽殿』地下1階にてご集合下さい。

- 3クラブ合同「ケニア・チャリティー・ゴルフコンペ」のご案内
東京広尾、東京田園調布、東京白金の3クラブ共同開催により、「ケニア・チャリティー・ゴルフコンペ」が、11月7日(水)に随緑カントリークラブ竹岡コースで開催されます。参加を希望される方は、10月1日(月)までに事務局までご連絡願います。

(お知らせの続きは4ページへ)



平成24年9月3日

卓話 『80歳を迎えて思う事』

作曲家

小林 亜星 様

皆さん、こんにちは。私は昭和7年生まれで戦前のことも幼心に多少知っているつもりです。戦時中も戦後も苦労したんですが、近頃また振り出しに戻ったような、若い頃と同じようだなと感じることが多くなったんです。

この頃きな臭いというか、日本の周りでも色々な国から色んなことされちゃって、昔だったら戦争ですよ。私の子どもの頃、日本は軍国主義の国だったかという、全然そうじゃなかった。戦争が始まる直前まで。戦前の日本は変な話、エログロナンセンスの軟派な時代ですね。人間ある所まで良くなってくると世の中緩んでくるんでしょう、きっと。

私が6歳のとき、叔父が結婚した相手が新宿のカフェのお嬢さんで、そこによく連れていかれました。行き交うお姉さんたちがいい香りで、「アラビアの歌」というレコードが年中かかるんです。私が音楽好きになったのはそれからですね。私はこういう世界で生きたいなと。そのうちだんだん戦時色が強くなってきたんですが、土壇場まで日比谷のダンスホールもやってたそうです。最後のお別れパーティーは昭和16年。戦争が始まりましたものね。みんな泣いてダンスしてお別れをした。その人たちは学徒動員で前線で玉砕するような目にあうんですけど、そういう土壇場まで分らない。今も右翼的なことをおっしゃる方、平和を守ろうという方もいらっしゃるけど、どっちがいいかわからないけど、軟派の不良は戦争は大嫌い。私ももう絶対いやです。

最近、経済が世界的におかしくなっている。戦前もそうです。大恐慌。その前に大正の大震災。

そしてエログロナンセンス。

なんかおかしくなって戦争が始まった。日本が韓国を併合して日本の領土にした。確かにこれ悪いですね。けどその前に日露戦争があったんです。受売りですけど日露戦争にはやっとなんか勝った。こっちも危なかった。それにロシアが潰れたわけじゃないから、またやってくる。バルチック艦隊に頼んなくても大陸から来ればすぐなんですから。そうするとまず朝鮮がやられるぞと。それを何とかしなくちゃ日本にまで及ぶ危機があったんですね。

出征した人の話を聞くとね、向こうで碌なことしてない。でもいいことも多いね。私、グアムに行った時、グアムの税関のおっさんと親しくなった。その人が言っていたのは、グアムの人はみんな日本が好き。なぜかという、日本は軍律正しかったから。蒋介石の軍はだらしなかったし米軍が来たら混血が増えちゃった。軍律厳しいから日本人との混血は1人もいない。私もそういう日本人のいい面は確かにあると思います。勤勉で優秀だし正義感もあります。

これからはもうどこの国の人かという問題ではない。これから世界国家になっていくんじゃないですか。パソコンもそうでしょ。英語はもう世界語ですよ。そんな世の中になっていく。しかし日本人は優秀ですから心配ないと思います。

時間ですので、残念ですが終わらせていただきます。





2012年9月15日～17日

RYLAセミナー報告

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) は、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムで、青少年にリーダーシップ、良き市民、人間としての成長を促すものです。

RI第2750地区の本年度のセミナーが9月15日～17日に開催され、東京六本木RCでは、石上会員の推薦により武蔵野大学の学生2名の研修を支援しました。

藤 菜摘 様

私は普段、リーダーという立場に立つことがほとんどなく、どちらかといえばサポート役に回ることが多い人間です。そのため、このセミナーに参加するまではリーダーシップというのは自分にはあまり関係のないものだと考えていました。今回、貴重な三日間を過ごして、根本的なリーダーシップの意味を知れたように思います。

どの研修も大変有意義なものでしたが、私が一番印象に残っている研修は、二日目の「友愛の広場」で行ったメモを利用した伝言ゲームです。部長、課長、社員のそれぞれの役割に就き、ミッションを効率的に遂行します。私はこのゲームで、たまたま部長になりました。課題はそれぞれに配られた紙を統一するというシンプルなものでしたが、上手く意思疎通が図れず、私は全てを自分でやろうとしてしまい、私達のグループはミッションを遂行する前に時間切れとなってしまいました。ゲームが終わった後の反省会で目的と情報の共有の大切さについて皆で話し合いました。私はいつのまにか上に頼ることが当たり前になっていたことに気がきました。自分がやらなければならない仕事と他に任せるべき仕事を上手く分けていく方が効率の良いことを知りました。

今回のセミナーを通して、自分の置かれている状況下で自分なりのリーダーシップを発揮する大切さを学びました。今後は周りを見て自発的に行動することを心がけていきたいです。

弟子丸 優希 様

今回、私はこのセミナーで様々なことを学びました。特に印象に残っているのは、初日に国連大学副学長の武内様にお話しいただいた「自然共生社会とグリーンエコノミー」です。この講演では持続可能な社会とそれを実現するためのアプローチについてお話いただきました。持続可能な社会という言葉自体は知っていました。しかし、そのための手段として日本に古くからある里山と里海の構造のように自然と共存していくシステムが有用である、ということを知ったときは目からうろこが落ちました。もったいない、という言葉がそのまま世界共通語になりつつあることも考えると、これからの世界を考えるとときには西洋的な考え方だけでなく、このような東洋的な考え方も必要になってくるのではないか、と思いました。

三日間このような貴重なお話を聞いたり、グループワークをしたりするなかで、思ったことがあります。それは参加者の皆さんがとても積極的、主体的で意識が高いということです。今年、私は大学3年生で自分の将来が定まらず、漫然と半年を過ごしていました。今回セミナーに参加したことは、良い刺激になりました。具体的に何をする、ということはまだ浮かびませんが、とりあえず何かしたい、一歩踏み出したいという気持ちは強く感じています。ほかの参加者の方々のような高い積極性と主体性を、言い換えるなら、自分自身に対するリーダーシップを意識していきたいと思います。





例会日》月曜日 12:30 - 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL : 03-4333-1234)

■ ニコニコBOX情報

宇佐見 千嘉さん

長い間、お休みいただきまして、久しぶりに出席させていただきました。

森 佳子さん

今日は私の誕生日です。うれしくない歳になりました。
末松さん今日はようこそ、御参加頂き有難うございました。

篠塚 博さん

会員選考委員会の皆様、早くからお越し頂きありがとうございます。
末松様大歓迎です。

松島 正之さん

9月10日、夜間例会の準備に当られた親睦委員長および委員の方に感謝申し上げます。
今日は、山脇さんありがとう。楽しみにしています。

安間 百合子さん

山脇さま、本日はご多用の中、ありがとうございます。
たのしみに、うかがわせていただきます。

安井 悦子さん

親睦委員会の皆様、初めての移動納涼夜間例会お疲れさまでした。

刈田 吉夫さん

先週国際会議でミネアポリスに行って来ました。
殆んどアメリカの北端で、涼しく良い気候でした。

杉本 潤さん

お久しぶりです。

山本 良樹さん

今月と来月は休会があります。そこでニコニコも頑張らなければなりません。

渡邊 滋さん

朝夕涼しくなりました。
「かはたれの人影に秋立ちにけり」 角川源義
(ちなみに角川は角川書店の創立者です)

9月24日	合計	56,000円
	累計	441,000円

● クラブからのお知らせ 【続き】

- 「バルカン室内管弦楽団とのタベ」のご案内
東京杉並RCから創立25周年記念として開催される以下のレセプションパーティのご案内が来ております。ご参加を希望される方は、9月25日(火)までに事務局までご連絡願います。
日時：10月9日(火) 17:30受付開始、18:00開宴
会場：ヒルトン東京3階「大和の間」
登録料：15,000円(うち5,000円は活動への援助金)
- 10月22日に開催されるクラブ協議会で、会員の皆様において提起したい議題等がございましたら、幹事までご連絡をお願いいたします。

■ 今後のプログラム

平成24年10月15日
卓話『指導者が領土を持ち出す時』
ジャーナリスト
小林 和男 様

プロフィール

1940年長野県生まれ。東京外語卒業後NHK記者、モスクワ支局長などロシア駐在11年。海外ウィークリー、NHKスペシャルキャスター。92年ソ連崩壊の報道で菊池寛賞。93年ロシアの客観報道でモスクワジャーナリスト同盟賞。08年ロシア文化への貢献でロシア政府プーチン勲章。解説主幹、作新学院大学教授を経て現在作新学院顧問、サイトウ・キネン財団評議委員、日本エッセイストクラブ賞審査委員、日本民間外交推進協会日経経済文化委員、著書「エルミタージュの緞帳」(日本エッセイストクラブ賞)「1ブードの塩〜ロシアで出会った人々〜」「狐と狸と大統領」「白兔で知るロシア」「プーチンと柔道の心」など。

● 松木親睦活動委員長より

- 夜間例会への出席のお礼及び夜間例会時撮影した写真の申し込みについて。
受付にて希望の写真を選択し、購入する方法に変更します。
大きな写真500円、小さい写真は150円です。
次の夜間例会は12月17日のクリスマス夜間例会です。

● 山本新世代委員長より

- 12月11〜12日、東京都立芝商業高校のインターンシップの協力の再依頼。
まだ受け入れが足りませんので、是非協力をお願いします。
申し込み締め切りは9月28日です。

『今週の言葉』

どんしゅう およ
「吞舟の魚は枝流に游がず」 列子

舟を飲み込むような大魚は、枝分かれした小さな川では泳がない。同様に、大人物は、悠々迫らず小事にはこだわらない趣旨と解釈される。西郷隆盛は、身体も大きいが、志も国家の私を成すという遠大なものであった。国家停滞の今こそ、私を捨て、公のために一身を捧げる大人物が舞台上に登場して欲しい。(松島正之会長)

9月24日の例会出席率(暫定)

- ・会員の例会出席数(出席率) 30名(64%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 8名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会
問伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための問伐と問伐材の有効活用
に役立ちます

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 安井 悦子
委員 長広報・週報 渡辺 美智子
副 委員 長

事務局》〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/